Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

現代社会と日本語

第7回　表記と社会

南浦涼介

「近ごろの名前は変な漢字を使い、変な読み方をしていて、どうしても読めない名前を多く見かける」

ま　な
愛菜
言わずとしれた芦田愛菜ちゃん

あると
或斗
モデルの神田笑花が付けた名前

の　あ　　せいあ
希空　青空
杉浦太陽＆辻希美夫妻が付けた名前

～１９４５年（昭和２０年）～

190万人	男	女
第１位	勝	和　子
第２位	勇	幸　子
第３位	進	洋　子
第４位	清	節　子
第５位	勝　利	弘　子
第６位	博	美智子
第７位	勲	勝　子
第８位	弘	信　子
第９位	稔	美代子
第10位	修	京　子

～１９６０年（昭和３５年）～

162万人	男	女
第１位	浩	恵　子
第２位	浩　一	由美子
第３位	誠	久美子
第４位	浩　二	智　子
第５位	隆	浩　子
第６位	修	裕　子
第７位	徹	洋　子
第８位	浩　之	明　美
第９位	聡	幸　子
第10位	博	和　子

～１９７９年（昭和５４年）～

166万人	男	女
第１位	大　輔	智　子
第２位	誠	久美子
第３位	直　樹	陽　子
第４位	亮	裕　子
第５位	剛	理　恵
第６位	大　介	真由美
第７位	学	香　織
第８位	健　一	恵
第９位	健	愛
第10位	哲　也	優　子

～１９９５年（平成７年）～

122万人	男	女
第１位	拓　也	美　咲
第２位	健　太	愛
第３位	翔　太	遥
第４位	翼	佳奈・舞
第５位	大　樹	
第６位	大　貴	葵
第７位	翔	彩
第８位	亮　太	菜　摘
第９位	拓　哉	桃　子
第10位	雄　大	茜

～２００２年（平成１４年）～

115万人	男	女
第１位	駿	美咲・葵
第２位	拓海・翔	
第３位		七海
第４位	蓮	美羽
第５位	翔太・颯太	莉子
第６位		美優
第７位	海斗	萌
第８位	健太	美月・愛・優花・凛
第９位	大輝	
第10位	大樹・優	

２０１８年　赤ちゃん命名・お名前ランキング

男の子

2018年順位	お名前	主な読み	件数	2017年順位
1	蓮	れん	258	1
2	大翔	ひろと	211	4
3	陽翔	はると	209	6
4	樹	いつき	200	8
5	湊	みなと	191	3
6	大和	やまと	152	11
7	悠人	ゆうと	149	5
8	悠真	ゆうま	145	2
9	陽太	ようた	142	7
10	結翔	ゆうと	141	15
11	蒼	そう	136	13
12	朝陽	あさひ	133	12
13	陽斗	はると	125	19
14	悠斗	ゆうと	120	10
15	陽向	ひなた	119	18
15	陸	りく	119	22
17	新	あらた	118	19

女の子

2018年順位	お名前	主な読み	件数	2017年順位
1	葵	あおい	212	6
2	結菜	ゆうな	199	5
3	陽葵	ひまり	190	2
4	咲良	さくら	183	4
5	芽依	めい	182	9
6	結衣	ゆい	180	1
7	凛	りん	174	3
8	結愛	ゆあ	173	9
9	陽菜	ひな	167	7
10	莉子	りこ	165	8
11	紬	つむぎ	164	16
12	澪	みお	162	19
13	凛	りん	152	11
14	結月	ゆづき	151	13
15	美月	みつき	134	17
16	さくら	さくら	132	11
17	杏	あん	130	18

むしろ全体的に「すこしキラキラ」な傾向はある

（昔に比べてより「感覚的に音と意味を組み合わせる」傾向）

～１９４５年（昭和２０年）～

190万人	男	女
第１位	勝	和　子
第２位	勇	幸　子
第３位	進	洋　子
第４位	清	節　子
第５位	勝　利	弘　子
第６位	博	美智子
第７位	勲	勝　子
第８位	弘	信　子
第９位	稔	美代子
第10位	修	京　子

～１９６０年（昭和３５年）～

162万人	男	女
第１位	浩	恵　子
第２位	浩　一	由美子
第３位	誠	久美子
第４位	浩　二	智　子
第５位	隆	浩　子
第６位	修	裕　子
第７位	徹	洋　子
第８位	浩　之	明　美
第９位	聡	幸　子
第10位	博	和　子

～１９７９年（昭和５４年）～

166万人	男	女
第１位	大　輔	智　子
第２位	誠	久美子
第３位	直　樹	陽　子
第４位	亮	裕　子
第５位	剛	理　恵
第６位	大　介	真由美
第７位	学	香　織
第８位	健　一	恵
第９位	健	愛
第10位	哲　也	優　子

～１９９５年（平成７年）～

122万人	男	女
第１位	拓　也	美　咲
第２位	健　太	愛
第３位	翔　太	遥
第４位	翼	佳奈・舞
第５位	大　樹	
第６位	大　貴	葵
第７位	翔	彩
第８位	亮　太	菜　摘
第９位	拓　哉	桃　子
第10位	雄　大	茜

～２００２年（平成１４年）～

115万人	男	女
第１位	駿	美咲・葵
第２位	拓海・翔	
第３位		七海
第４位	蓮	美羽
第５位	翔太・颯太	莉子
第６位		美優
第７位	海斗	萌
第８位	健太	美月・愛・優花・凛
第９位	大輝	
第10位	大樹・優	

名前が「すこしキラキラ」な感じになってくるのはいつからなのだろうか？

1 海外でも、いわゆる「キラキラネーム」はあるのだろうか？

Mother who called her daughter DISNEY because she loves the fictional princesses hits back at trolls who ridiculed the unusual name online

Oliver Google KAI was named Google

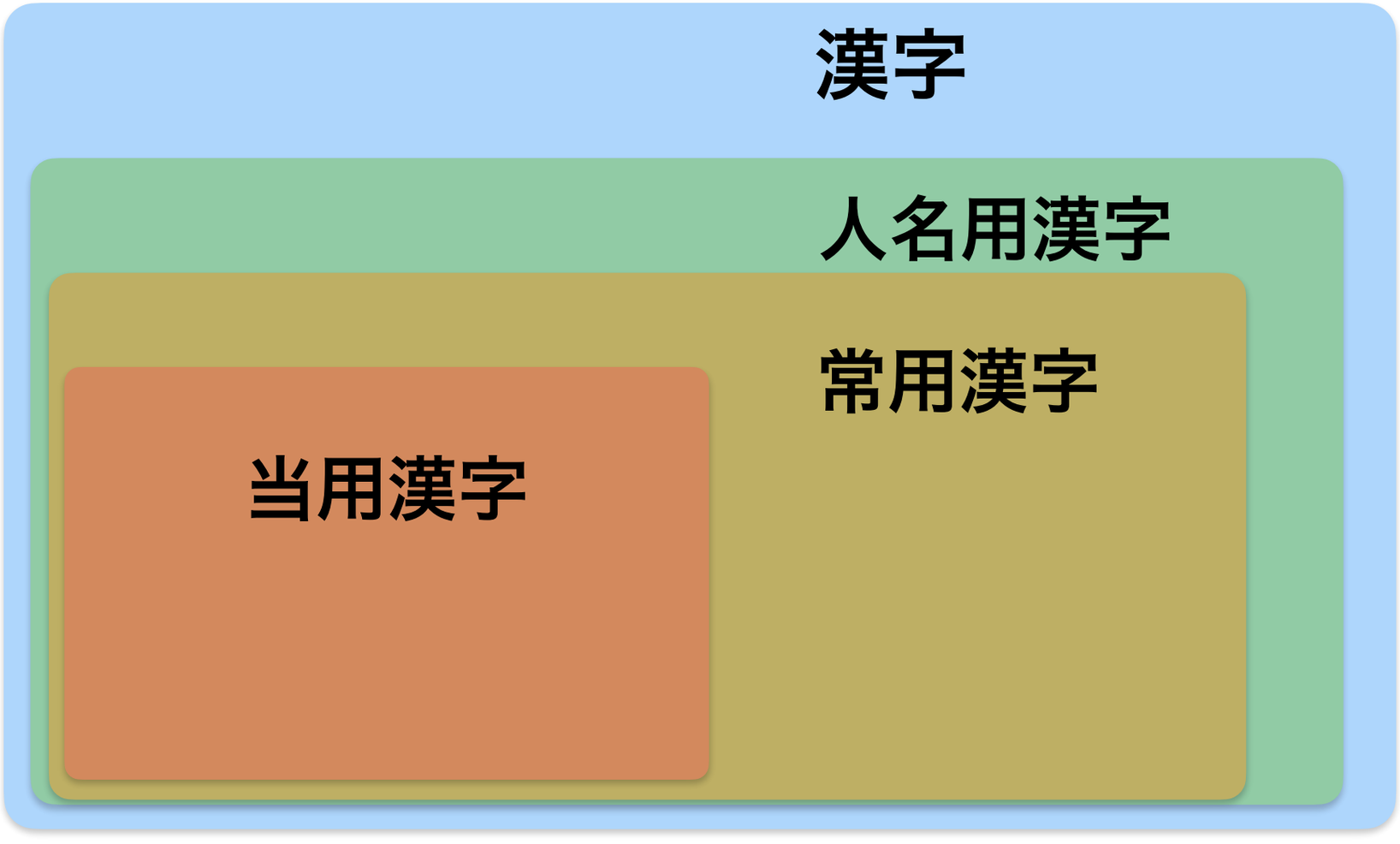
子どもに「@」という名前を付けようとしたが却下される

日本語のキラキラネームと海外のキラキラネームは、
傾向としてどのように違っているのか？

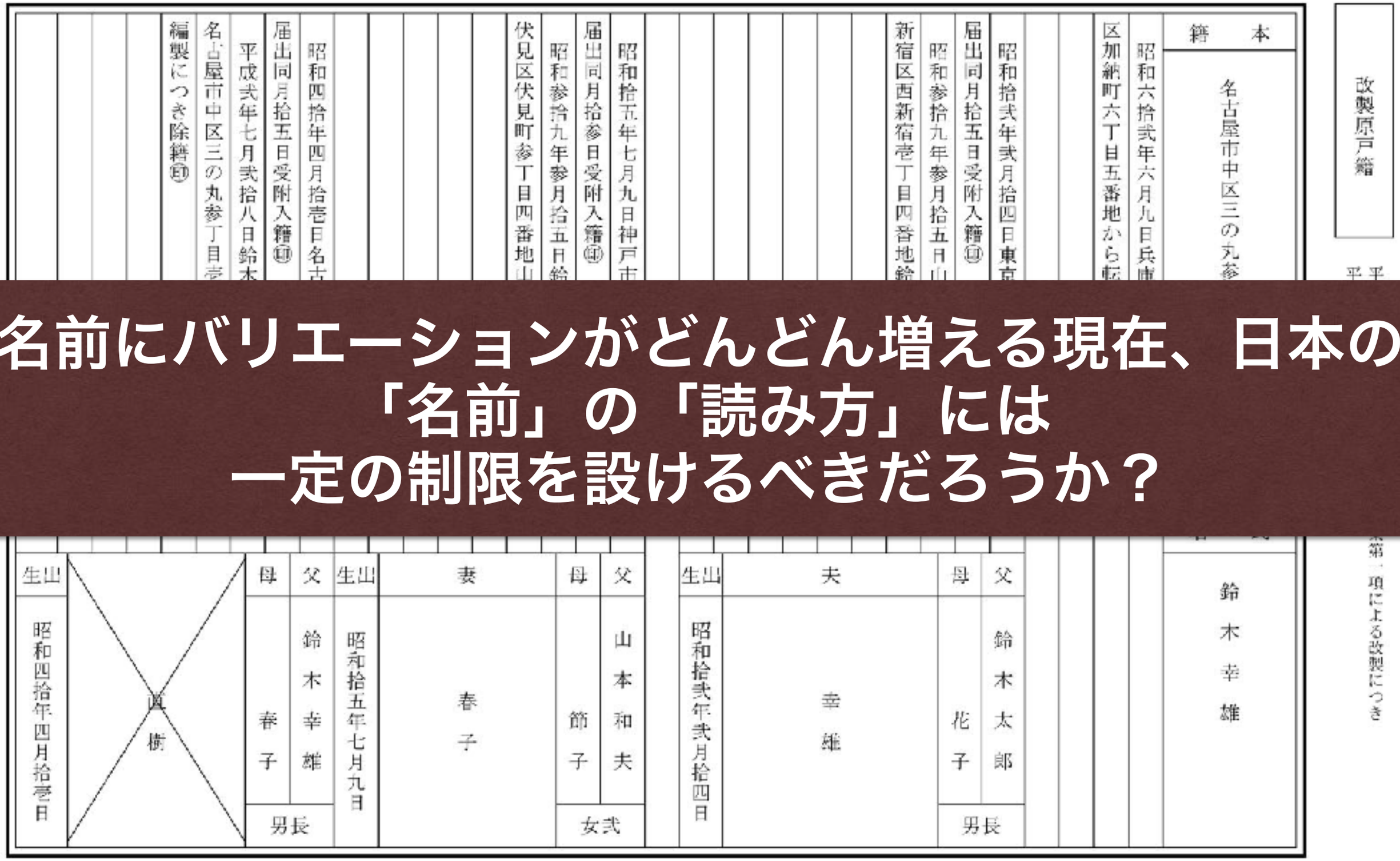
日本で「漢字表記＋訓読み」による
バラエティな名前が生まれる理由

人名用漢字

「子の名にはできるだけ常用平易な文字を用いることが理想である。
その意味から子の名に用いる漢字は当用漢字によることが望ましい」
（国語審議会　人名漢字に関する建議　昭和26年5月14日）



被相続人の転籍から戸籍改製までの戸籍のサンプル（２の１）



名前にバリエーションがどんどん増える現在、日本の
「名前」の「読み方」には
一定の制限を設けるべきだろうか？

本来戸籍には「名前の読み」を記載するところはない。
（私たちは「名前の読み方」は特に管理されていない）

2 日本語はどんな「表記の特徴」があるのか？

万葉集の特徴から

和多都美乃 宇美尓伊弖多流 思可麻河伯 多延無日尓許曽 安我故非夜麻米
わたつみの海に出でたる飾磨川（しかまかわ）　絶えむ日にこそ吾（あ）が恋やまめ

春楊 葛山 發雲 立座 妹念
春楊（はるやなぎ）　葛山（かつらぎやま）に　発（た）つ雲（くも）の　立（た）ちても座（ゐ）ても　妹（いも）をしぞ念（おも）ふ

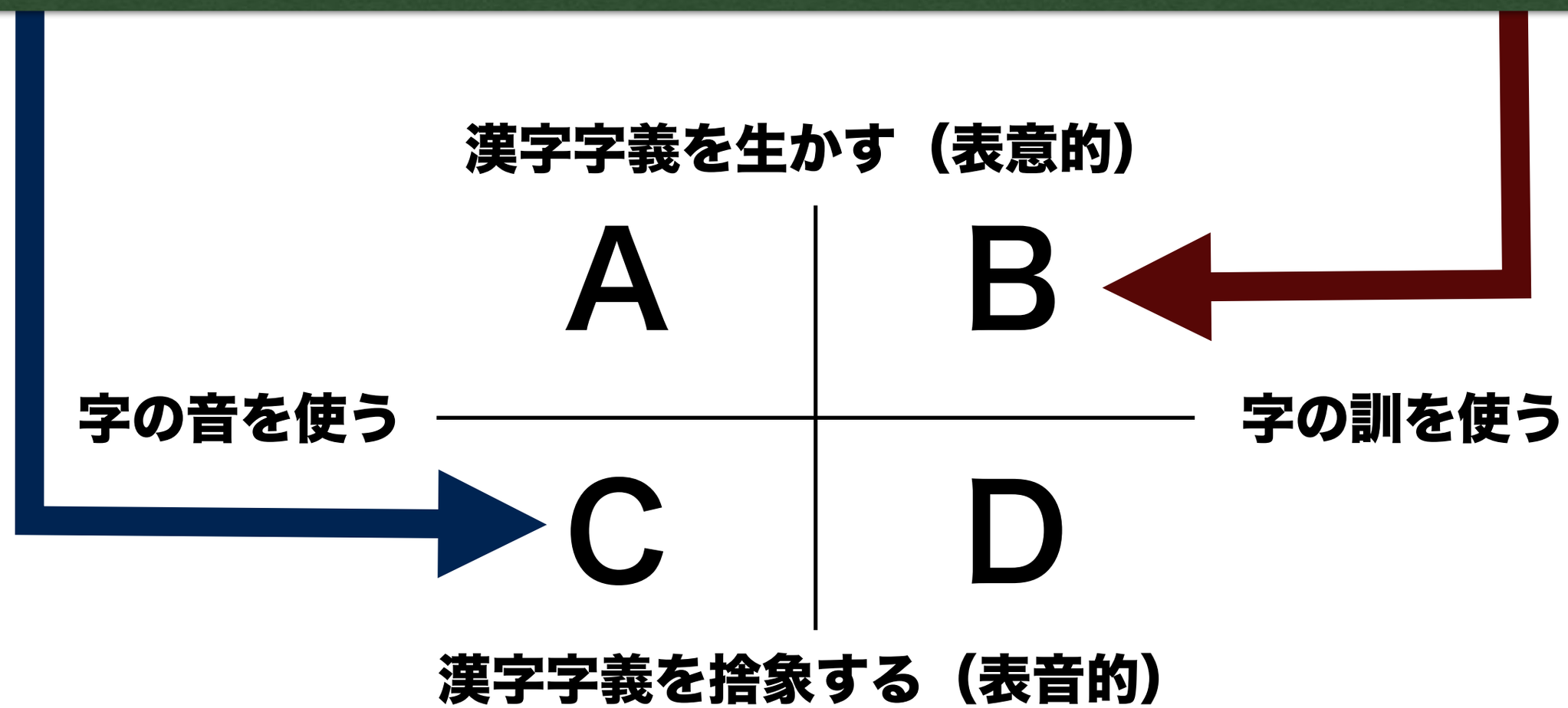
どのような「表記上の違い」があるか？

笹原宏之（2014）『訓読みのはなし』角川ソフィア文庫

和多都美乃 宇美尓伊弖多流 思可麻河伯 多延無日尓許曽 安我故非夜麻米
わたつみの海に出でたる飾磨川(しかまかわ)　絶えむ日にこそ吾(あ)が恋やまめ

春楊 葛山 發雲 立座 妹念
春楊(はるやなぎ)　葛山(かつらぎやま)に　発(た)つ雲(くも)の　立(た)ちても座(ゐ)ても　妹(いも)をしぞ念(おも)ふ

磐白乃 濱松之枝乎 引結 真幸有者 亦還見武
磐白(いわしろ)の、浜松(はままつ)が枝(え)を、引(ひ)き結(むす)び、ま幸(さき)くあらば、また還(かえ)り見(み)む



笹原宏之（2014）『訓読みのはなし』角川ソフィア文庫

3 「名前の読みの難しさ」はいつから？

「近ごろの名前は変な漢字を使い、変な読み方をしていて、どうしても読めない名前を多く見かける」

「近しきころの名には　あやしき訓有て、如何とも読みがたきぞ多く見ゆる」
本居宣長『玉勝間』（1795-1812）.

江戸の将軍

家斉（いえなり）
家茂（いえもち）
慶喜（よしのぶ）

明治の変わった名

術（てだて）　囂（しずか）　紅玉子（るびこ）
於菟（おと）

伊東ひとみ（2015）『キラキラネームの大研究』新潮新書

では，戦前の変わった名前の読みと
現代の「すこし，キラキラな名付け」は同じか？　違うか？

江戸の将軍

いえなり
家斉

いえもち
家茂

よしのぶ
慶喜

明治の変わった名

てだて
術

しずか
囂

る　び　こ
紅玉子

お　と
於菟

楚人乳を穀と謂い、虎を於菟と謂う。故に之を命づけて闘穀於菟と曰う。（『春秋左氏伝』）
ドイツの人の名前「オットー」。
をかけたダブルミーニング

森鴎外が長男につけた名前

ま　な
愛菜

言わずとしれた芦田愛菜ちゃん

あると
或斗

モデルの神田笑花が付けた名前

の　あ
希空

せいあ
青空

杉浦太陽＆辻希美夫妻が付けた名前

伊東ひとみ（2015）『キラキラネームの大研究』新潮新書

政策と世代からみるキラキラネームの系譜

インテリ層を中心に漢字に詳しい社会
漢字を使いこなすことがステイタスになる

漢字制限前の世界を知る世代
漢字制限第1世代

於菟（おと）

森鴎外が長男につけた名前

楚人乳を穀と謂い、虎を於菟と謂う。故に之を命づけて鬪穀於菟と曰う。（『春秋左氏伝』）
ドイツの人の名前「オットー」。をかけたダブルミーニング

1945年　大戦の終わり

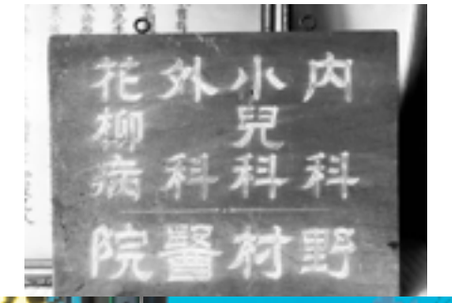
1949年　当用漢字表告示

漢字制限のはじまり

育児期

団塊の世代
漢字制限第2世代

漢字制限があっても街の風景には戦前からの漢字世界の名残も多い社会



1960年代　高度成長時代

育児期

団塊ジュニアの世代
漢字制限第3世代

漢字制限された社会しか知らない世代

1980年代　安定成長時代

1990年代　バブル崩壊後

育児期

名前のキラキラ現象に注目

日本語政策として行われた「漢字制限」は，世代を重ねていく中で社会の完成を見る

漢字制限と教育によって誰もが漢字を使いこなせる
が
漢字制限によって誰もが漢字の起源や字義を知らなくなる

伊東ひとみ（2015）『キラキラネームの大研究』新潮新書

論点

キラキラネームから社会と文字表記，教育の関係を考える
多様な人との流通性の保障に向けるのか？（社会的実用性）
文字が有する文化性の保障に向けるのか？（学問的厳密性）

概念①「借用文字」であるという歴史的特徴

日本語は膠着語、中国語は孤立語的で、音声体系も異なる。
特徴が異なる言語の「文字」（しかも表意文字）を借用するためにさまざまな独自の手法が生まれた。

結果

「訓読み」の定着と普及

多様で複雑で柔軟な書き言葉を生み出した。

概念②　政策による「制限」

「漢字制限」や「現代仮名遣い」「送り仮名の表記」などの政策が、多様さ・複雑さに制限をかけて、「揺れ」を減らす。

流通性の向上　**文化性の低下**

字義に則らない「感覚的漢字使用」が一般化

4 さらに考える…多様な「日本語人」の存在

「多様な表記」が持つ「日本語上の障害」は？

盲者にとっては、非漢字空間に生きている。漢字は端的に言って「障害となる」。
たとえパソコンが使えるようになっても、晴眼者同様に漢字を使うことはできない。常に「表記ミスをしていないか」や「固有名詞の漢字」について困り、疎外感・排除感を感じる。

（ましこ・ひでのり「ニホンジンのニホンジンによるニホンジンのためのニホンゴ」『ことばと文字』p.111, 2014年）

外国人、日本語を学習中の子どもたち（外国人の子どもだけではなく）にとっての表記の多様さは、社会へのアクセスや参加にとっての「障害」になっている。
「何が書いてあるかわからない」状態の「割合」は表音文字の世界と比べてどうか？

本日の命題

「言語政策」と人々の言語使用の関係，教育の役割

命題26　時代の中で名前の流行は変わり，1990年代以降全体的に日本の名前は漢字の厳密な字義より意味や音の感覚を重視したものになりつつある。

命題27　元来，日本語の表記は万葉仮名以来「訓読み」の発想によって字義と音を自在に変えられる歴史性を持っている。

命題28　「漢字制限」という言語政策は，数世代を経て社会の中の漢字の言語景観を変える。1990年代のキラキラネームにも影響。

命題29　「漢字制限」という言語政策によって，日本語は流通性を高めることができる一方で，字義などの歴史性文化性についての人々の認識は薄まっていく。

「多様な人との流通性の保障（社会的実用性）」と「文字が有する文化性の保障（学問的厳密性）」の対立関係

命題30　日本語の多様な表記という特性は，日本語使用者の特性によっては「アクセスしにくさ」につながっている。だからこそ，「文字の制限や管理」という政策は重要でもある。

命題31　教育の問題としてみれば，「文字の制限や管理」によって流通性を高めることを前提とした上で，どのように多様な日本語使用者に対しても「文字が有する歴史性と文化性の認識を高め，実用の中に埋め込んでいくかは重要。

「文字を学び，使うこと」はどのような教育のあり方であるべきか？